

# 11月の野菜の見通し

平成29年10月23日現在

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		12,485	神奈川県産：前年並み 千葉県産：前年以上	12,792	124	48%	76	-	-	前年の高値で関東産地は作付け増の流れにある。関東産は播種作業、生育とも順調に推移。神奈川県産は入荷順調だった前年並みだが、少なかった主力千葉県産は前年以上の入荷見込み。台風21号の被害程度によるが、総体の予想入荷量は前年比105%。
はくさい		14,560	前年並～やや減	13,022	116	43%	63	9	0.1%	茨城産は11月出荷の株も不足なく植えられており、平年作の見込み。台風21号の被害程度にもよるが、高値で入荷集約化した前年比較では、予想入荷量は前年並み～やや減。長野産の残量もあり、販売環境は前年より厳しく、価格は高騰した前年の半値、平年比でも安。
ほうれんそう		1,292	130%	1,531	612	74%	489	2	0.2%	現状、10月前半の前進出荷と低温・曇雨天のため、入荷伸び悩んでいるが、11月出荷について撒きつけはできており、天候回復とともに数量増の見込み。各産地とも平年並に回復を見込んで、少なかった前年の130%。10月下旬の高値反動で11月上旬は下げに展じる見通し。予想価格は高騰した前年の大幅安だが、ほぼ平年並みと堅調。
ねぎ		5,178	105%	5,634	349	72%	269	254	4.9%	前年の高値を受け、各産地とも作付け増の流れ。東北産、関東産とも現時点では平年作と見込まれる。作付け増と10月降雨で収穫遅れの東北産がずれ込み、予想入荷量は前年比105%。上旬は東北産のずれ込みで増量し下げ気配強まる見通し。価格は高値の前年より大幅安だが、平年比ではやや安。
きゅうり		4,432	前年並	4,619	449	78%	392	29	0.7%	関東産は10月に入ってから低温、曇雨天の影響が顕在化し、今後の出荷量は前年を下回る模様。西南暖地産も今後の天候次第だが、前年の量を上回る可能性は低く、総体の予想入荷量は少なめだった前年並み。11月上旬まで高値基調が続くも、中旬は西南暖地産が出荷本格化し、下げ気配強まる見通し。価格は高値の前年より大幅安く、平年比でも安。
トマト		3,912	150%	5,167	624	56%	459	10	0.3%	現時点では西南暖地産は花付き、着果実状況に問題なく、平年作の見込み。関東産は8月からたびたびの天候不順により、平年作のレベルを下回るも、作柄は前年を上回る。予想入荷量は前年比150%と大幅増加し、平年並みよりもやや増。本年は野菜総体に10月からの基調安の流れにある中、トマトの相場は堅調も入荷増と前年の高値反動もあり、価格は前年比より大幅安く、平年比でも下回る。上中旬は西南暖地産の増加にともない軟調推移。